

●演習問題集の増刷に当たり、下表のとおり一部記述内容を変更しました。

変更箇所	変更前 (2019年10月1日 初版第1刷発行)	変更後 (2021年4月30日 初版第2刷発行)
P. 29 問題 23 130	( ) 精神科医療施設への入院制度として、精神保健福祉法において、措置入院、医療保護入院、応急入院、指定入院の4種類がある。	精神保健福祉法における精神科医療施設への入院制度には、措置入院、緊急措置入院、医療保護入院、応急入院、任意入院がある。
P. 61 問題 44 273	( ) 自律神経系はすべて求心性であり、交感神経系と副交感神経系から構成されている。	自律神経系は、交感神経系と副交感神経系から構成されている。
P. 74 問題 55 344	( ) うつ病・双極性障害の治療の中心は十分な休養と薬物療法である。積極的なカウンセリングや心理面接は、患者の負担になる場合があるので注意を要する。	うつ病・双極性障害の治療の中心は十分な休養と薬物療法である。積極的なカウンセリングや心理面接は、患者の負担になる場合があるので注意を要する。
P. 132 解説 23 130	(×) 精神科医療施設への入院制度には、精神保健福祉法にもとづき、措置入院、医療保護入院、応急入院、任意入院の4種類がある。これらの入院に際しては、本人および家族等に対して文書による告知と同意が求められる。	(○) 設問のとおり。これらの入院に際しては、本人および家族等に対して文書による告知と同意が求められる。
P. 171 解説 44 273	(×) 自律神経系は内臓や血管の働きをコントロールし、生体内部の環境調整にかかわるものであり、中枢から末梢への情報伝達の方向なので、すべて遠心性である。	(○) 自律神経系は内臓や血管の働きをコントロールし、生体内部の環境調整にかかわるものである。